

Requested Patent: JP2001075787A
Title: APPLICATION LAUNCHER ;
Abstracted Patent: JP2001075787 ;
Publication Date: 2001-03-23 ;
Inventor(s): MINAMIZAWA TAKEAKI;; FUJIWARA RYUHEI ;
Applicant(s): NEC CORP;; NTT DOCOMO INC ;
Application Number: JP19990250535 19990903 ;
Priority Number(s): ;
IPC Classification: G06F9/06 ;
Equivalents: ;

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To limit applications which can be used after the setting and state of communication environment are confirmed by showing a menu of the applications which are usable in the use environment on a screen and starting the desirable application after predetermined communication environment parameters are set in a PC once a choice of the menu is made. **SOLUTION:** This launcher displays icons showing use environment. The icons are displayed by referring to items 41 of a use menu in a management table. For example, when a company whose the communication environment is a LAN is selected, icons of a word processor, a spread sheet, and local mail are displayed as the items 42 of the application menu of the management table. When a user selects the local mail, parameter values of device parameter items 44 of the management table 40 such as an IP address and a DNS address are set as communication environment settings in the PC. Then a mail application program is started.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-75787

(P2001-75787A)

(43)公開日 平成13年3月23日(2001.3.23)

(51)Int.Cl.⁷

G06F 9/06

識別記号

410

FI

G06F 9/06

テマコード(参考)

410S 5B076

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全4頁)

(21)出願番号 特願平11-250535

(22)出願日 平成11年9月3日(1999.9.3)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(71)出願人 392026693

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

東京都千代田区永田町二丁目11番1号

(72)発明者 南沢 岳明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74)代理人 100078237

弁理士 井出 直孝 (外1名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 アプリケーションランチャ

(57)【要約】

【課題】 通信環境の設定、状態を確認して使えるアプリケーションを限定すること。

【解決手段】 利用環境メニューとアプリケーションメニュー、通信環境パラメータを関連付けたテーブルを持ち、そのテーブルに従って、利用環境を代表する複数のメニュー(アイコン)を提示し、その1つを選択(クリック)することで、次にその利用環境で利用可能なアプリケーションメニューを画面に示し、さらにそのメニューを選択すると予め決められた通信環境パラメータをPCに設定した後に、希望のアプリケーションを起動する。

	41	42	43	44
利用メニュー	アプリケーションメニュー	通信デバイス	デバイスパラメータ	
家	ゲーム Webブラウザ	無し 有線MODEM	通信速度 アクセスポイント電話番号 LOG-IN USER名 LOG-IN パスワード	
会社	ワープロ 表計算 社内メール	無し 無し LANカード	IPアドレス DNSアドレス	

40

図4 管理テーブル

【特許請求の範囲】

【請求項1】 PCアプリケーションを起動するランチャにおいて、利用環境メニューとアプリケーションメニュー、通信環境パラメータを関連付けたテーブルを持ち、そのテーブルに従って、利用環境を代表する複数のメニュー（アイコン）を提示し、その1つを選択（クリック）することで、次にその利用環境で利用可能なアプリケーションメニューを画面に示し、さらにそのメニューを選択すると予め決められた通信環境パラメータをPCに設定した後に、希望のアプリケーションを起動することを特徴とするアプリケーションランチャ。

【請求項2】 アプリケーションプログラムと通信環境を関連付ける利用環境テーブルを持ち、利用できる通信環境に応じて使えるアプリケーションプログラムのみをメニューにし、利用者にその利用環境（場所）を選択させる手段とアプリケーションプログラムの起動手段を備えることを特徴とするアプリケーションランチャ。

【請求項3】 通信環境は物理的ないし、プロトコル処理を通じて自動的に検知することを特徴とする請求項2記載のアプリケーションランチャ。

【請求項4】 利用環境には代表名称を付与し、メニューとして表示することを特徴とする請求項2記載のアプリケーションランチャ。

【請求項5】 アプリケーションプログラムと通信環境を関連付ける利用環境テーブルを持ち、アプリケーションプログラムに対して利用できる通信環境に応じて使える利用環境（場所）を示し、選択させる手段とアプリケーションプログラムの起動手段を備えることを特徴とするアプリケーションランチャ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明は、アプリケーションランチャに関する。

【0002】

【従来の技術】PCの小型、軽量化にともなってノート型PCのようにカバンに入れて携帯するユーザが増えてきた。これらのユーザは携帯しているPCに必要な情報をすべて格納して移動しており、PCを使う場所で必要なアプリケーションを立ち上げて利用している。PCには、通常複数のアプリケーションプログラムが蓄えられており、ユーザは必要に応じて選択して起動するが、アプリケーションが必要とする通信環境は使う場所で異なることが多く、その場その場でユーザは通信環境のパラメータをPCに設定する必要がある。このような場合、特開平9-265386号公報では、ファイル添付された通信手段を指定する拡張子を判断して該当通信プログラムを起動するランチャを提供し、また特開平9-222979号公報では、利用者ごと限定したアプリケーションメニューを表示するランチャを提供していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、これら従来技術によっては、通信環境の設定、状態を確認して使えるアプリケーションを限定することはできなかった。

【0004】

【課題を解決するための手段】そこで、本発明では、かかる問題を解決するために、PCアプリケーションを起動するランチャにおいて、利用環境メニューとアプリケーションメニュー、通信環境パラメータを関連付けたテーブルを持ち、そのテーブルに従って、利用環境を代表する複数のメニュー（アイコン）を提示し、その1つを選択（クリック）することで、次にその利用環境で利用可能なアプリケーションメニューを画面に示し、さらにそのメニューを選択すると予め決められた通信環境パラメータをPCに設定した後に、希望のアプリケーションを起動するアプリケーションランチャを提供する。

【0005】

【発明の実施の形態】PCの電源を投入すると一般にスタート11と呼ばれるスクリプトプログラムが起動する。このスタート11に起動され、本アプリケーションランチャ（ランチャ12）が起動する。ランチャは起動するとPCにて利用可能な通信デバイスを検索する。通信デバイスは有線のMODEM13、LANカード14などで、一般にOS15でそのハードの実装状態を検知しており、ランチャ12からは入出力ファイルとして、その存在を読みとることができる。ただし実装状態は検知できても実際に利用できるか否かは実際にアクセスして応答があるか否かを判断しなければわからないので、ランチャ12は管理テーブル40の通信デバイスの項目43を参照、仮のアクセスをして確認する。

【0006】ランチャ12では利用環境を示す複数のアイコンを図2の例のように表示している。アイコンは管理テーブルの利用メニューの項目41を参照して表示されるが、例えば「会社」21、「家」22とか通念として利用者のアプリケーション利用条件を限定されることが予想されるものを使う。

【0007】例えば通信環境がLANである「会社」21を選択した場合、会社で利用するアプリケーションはワープロ、表計算、社内メールであるとする、それらは管理テーブルのアプリケーションメニューの項目42として図3の例のように「ワープロ」31、「表計算」32、「社内メール」33とアイコン表示されるが、他に家で使う目的でPCに準備されているゲーム17、ブラウザ20などのプログラムは画面に表示されない。また、もしもOS15が通信環境として会社で使われるLANデバイス14を検知できない場合は、上記アプリケーションメニュー画面に「社内メール」33を表示しない。

【0008】ユーザが「社内メール」33を選択した場合、IPアドレス、DNS（ドメイン・ネーム・サー

バ) アドレス、社内のメールサーバアドレスなど管理テーブル40のデバイスパラメータ項目44のパラメータ値をPCに通信環境設定として設定する。その後、メールアプリケーションプログラム19を起動する。

【0009】図1に本ランチャを含むPCのソフト構造を図1に示す。PCはOS15を基本としてMODEM13、LAN14など複数の通信デバイスの動作、実装を管理している。本ランチャ12は、その他のアプリケーションプログラム、スタート11、ワープロ16、ゲーム17、表計算18、メール19、ブラウザ20などと同様にOS15の管理下で動作する。OS15は他に表示デバイス21、操作デバイス22、記憶デバイス23を配下に管理してアプリケーションプログラムなどへ利用させる。本ランチャ12は記憶デバイス23の中に管理テーブル40を持つ。

【0010】また、本発明の他の実施例として、図4に示す管理テーブルを組み替えて、アプリケーションメニューを先に選択することも出来る。この場合図5に示すとおり、利用メニューに従って選択される通信デバイスが変わるが、デバイスの利用可否を監視しておけばアイコンの消し込みが可能である。

【0011】

【発明の効果】従来、ユーザはアプリケーションプログラムで使われる通信環境を記憶しておき、自分の利用環境の変更がある度に個々のデバイスに対する設定をもれなく更新することが要求された。また、この環境設定を助けるアプリケーションが用意されてはいるが、その他

の情報処理のアプリケーションとは異なりPCの環境設定自体をいじるもので、専門的な知識を持った者でないと利用は困難であり、PCのモビリティを妨げている原因にもなっていた。しかし、この主のPCユーザの日常行動パターンは決まっていることが多く、本特許のランチャを利用すると一度管理テーブルの設定を行っておけば、PCをどの環境に移動しようとも簡単に利用環境を合わせることができる。専門性も必要なく、PCを持ち歩き、どこでも簡単に利用環境に適合することができることはPCユーザ層の拡大と、利用機会を増す効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 PCソフト構造の例

【図2】 利用メニュー画面の例

【図3】 アプリケーション画面の例

【図4】 管理テーブルの例

【図5】 管理テーブルの例

【符号の説明】

- 11 スタート
- 12 ランチャ
- 13, 14 通信デバイス
- 16 ワープロ
- 17 ゲーム
- 18 表計算
- 19 メール
- 20 ブラウザ

【図1】

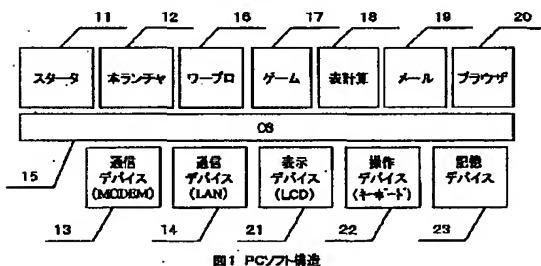


図1 PCソフト構造

【図2】

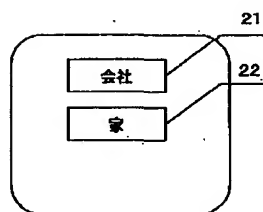


図2 利用メニュー画面

【図3】

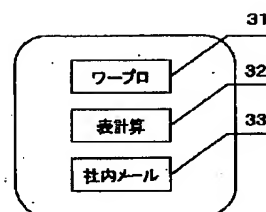


図3 アプリケーションメニュー画面

【図4】

41	42	43	44
利用メニュー	アプリケーションメニュー	通信デバイス	デバイスパラメータ
家	ゲーム	無し	
	Webブラウザ	有線MODEM	通信速度 アクセスポイント電話番号 LOG-IN USER名 LOG-IN パスワード
会社	ワープロ	無し	
	表計算	無し	
	社内メール	LANカード	IPアドレス DNSアドレス

40 図4 管理テーブル

【図5】

42	41	43	44
アプリケーションメニュー	利用メニュー	通信デバイス	デバイスパラメータ
ブラウザ	会社	LANカード	IPアドレス DNSアドレス
	家	有線MODEM	通信速度 アクセスポイント電話番号 LOG-IN USER名 LOG-IN パスワード
ワープロ	会社	無し	
	家	無し	

40 図5 管理テーブル

フロントページの続き

(72)発明者 藤原 隆平
東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

Fターム(参考) 5B076 AA03 AB17